



まだ誰も知らない安心を、ともに。

【業界初】アバター制作および仮想空間(メタバース)を開発

～進化するテクノロジーが創り出すリアルな仮想現実で新たなビジネスチャンスをつめる～

2022年7月14日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：新納 啓介）は、今後隆起が見込まれる「Web3（メタバース、デジタルツイン、NFT*等）」における経済活動で発生する新たなリスクに特化した保険商品・サービスの開発等を目的に、アバター制作やメタバースの開発を行うことのお知らせします。

第一弾として、当社代表取締役社長 新納啓介のアバターを制作し、そのアバターを活用した社内外コミュニケーションを7月から開始します。

※Non-Fungible Token（ノンファンジブル トークン）の頭文字を取ったもので、「非代替性トークン」という意味。「偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタル・データ」のこと。暗号資産（仮想通貨）と同じく、ブロックチェーン上で発行および取引される。

1. 背景

新型コロナウイルス感染拡大の影響で大きく変化した社会構造の中で、仮想空間（以下、メタバース）の活用は加速的に広がりました。2024年にはメタバースの市場規模は世界で90兆円まで成長するマーケットになると言われ、新たな経済活動のフィールドとなっています。しかしながら、メタバース上で発生する固有のリスクに対する対策や補償は発展途上と言われています。

当社ではWeb3が社会にもたらす影響・変化の調査・研究を進めており、特にメタバースにおいては、NFT技術の進展により「資産の共有やリアル同様の経済活動」が可能となる世界がもたらされると考えられています。当社が掲げる「CSV×DX（シーエスブイバイディーエックス）」を通じた社会への価値提供を目指し、メタバースにおける経済活動を安全・安心に行うことができる商品・サービスの開発を目的に、アバター制作およびメタバースの開発に着手することとしました。

2. 具体取組内容**(1) 当社社長のアバター制作**

メタバースにおけるビジネス参入の第一弾として、当社代表取締役社長 新納啓介のアバターを制作します。社内外コミュニケーションのあらゆる機会においてアバターで登場し、デジタルを通じた当社とお客さまの接点を創出します。

<想定する活用例>

- ・社内報でのアバターによる動画配信
- ・入社式等、社内イベントでのアバターによる挨拶
- ・代理店説明会等、社外向けイベントでアバターの登壇



アバターイメージ

(2) 社内外コミュニケーションにおけるメタバース空間活用

社員間および代理店・取引先とのコミュニケーションでメタバース空間を活用し、円滑な業務運営を実現します。

<想定する活用例>

- ・VR上のオフィスにアバターで出勤し、社員間コミュニケーションを実施
- ・本社各々が参加するプロジェクト運営や会議等を開催
- ・当社代理店・取引先に対する式典・イベントを実施



(3) メタバースで発生する固有のリスクに対する保険商品・サービスの開発

メタバースにおける安全・安心な経済活動のサポートを目指し、メタバースを運営する事業者やサービス提供者向けに、メタバースで発生する固有のリスクを補償する保険商品についてサイバー保険を中心に検討を進めています。将来的には、メタバース空間上で活動する個人に向けた補償、ならびに、万一の補償だけではなく、事故やトラブルを未然に防ぎ、影響を減らすサービスの開発にも取り組むことで、安全・安心なメタバースの発展に貢献していきます。

<メタバースで想定される主なリスク>

対象	想定されるリスクの事例
メタバースを利用する個人（アバター所有者）	アバターの乗っ取り・なりすましにより発生する風評被害や精神的苦痛
	悪意ある第三者の不快な言動・対応（セクハラ等）でユーザーが感じるネガティブなファントムセンス※ ※ファントムセンス（VR 触感）とは、視聴覚で認識した VR 体験上の擬似感覚を実際の感覚のように感じる現象全般のこと
メタバースでサービスを提供する事業者	サイバー攻撃やシステムトラブル等に起因し、メタバースが正常に機能しなくなることによるサービス提供者の業務の中断・停止
	サイバー攻撃等によりメタバース空間内のイベント会場等が利用できなくなった場合に必要となる代替手段の手配
その他	メタバース内の飲食店で働く店員に対して発生するカスハラ・セクハラ
	メタバース内で働く社員に対する賃金の不払い

(4) 多様性ある働き方の実現に向けて ～「あいおいニッセイ同和損保メタバース支店」の開設検討～

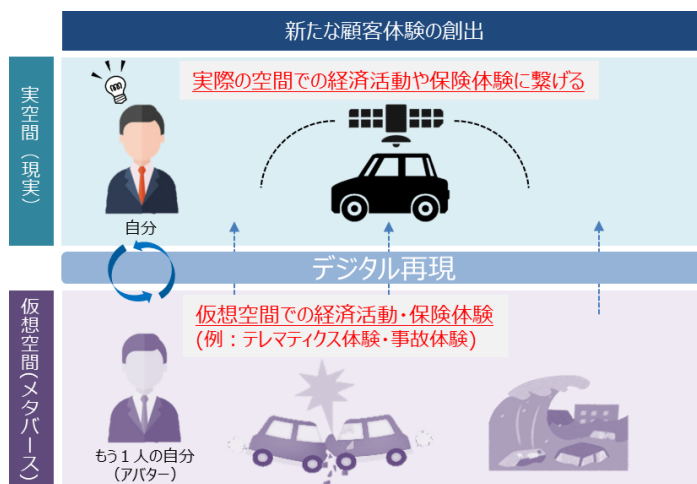
メタバースは時間や距離などの制限が解消される「次世代の働く場所」になりうると考えています。このような社会潮流にいち早く対応するためにも、メタバース支店の開設を検討開始しました。

障がいのある方や何らかの理由で社外対応が困難な社員などが現実（リアル）の職場で働きにくい場合でも、自身の好きなアバターによって「あいおいニッセイ同和損保 メタバース支店」の中で当社の保険商品の説明・販売を行うなど、多様性ある働き方の提供を目指します。

3. 今後について

メタバースで弊社独自の空間（スペース）を順次開設・拡大を行い、先進性のある取組みを発信していきます。当社のテレマティクス自動車保険にご加入の際に、メタバースでお客さまに事故の体験をしていただくことで安全運転に努めていただくなど、お客さま向けの新たな顧客体験の創出やZ世代との接点強化にも取り組んでいくことで、「CSV×DX」の実現を目指していきます。

なお、MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社でも5月に「メタバースプロジェクト」が始動しています。今後もMS&ADインシュアランスグループとして幅広くノウハウ蓄積を進めていきます。



【イメージ】

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



あいおいニッセイ同和損保は、「CSV×DXを通じて、お客さま・地域・社会の未来を支えつづける」ことを目指しています。最先端・独自の技術やデジタル・データの活用、特色あるパートナーとの協業により、お客さま・地域・社会が真に求める新たな価値を提供していきます。また、国内外のあらゆる事業を通じて、お客さま・地域・社会とともに社会・地域課題の解決にグローバルに取り組めます。

